

OVAL NEWS LETTER

今回のテーマ

東京薬業厚生年金基金；『代行返上』の問題点

『代行返上』=全事業所で新制度移行、は成立するか？

東京薬業厚生年金基金は『代行返上』、即ち、“全ての事業所で後継制度に移行する”方針を平成28年2月の代議員会で決定しました。しかし、これは本当に実現できるのでしょうか。

同基金に加入する710事業所(H28年6月末現在)が足並みを揃えて後継制度に移行することに、全社が賛同するのでしょうか。

後継制度(共通DB確定給付年金)に加入したくない事業所はどうすればよいのでしょうか。

そして何よりも、後継制度は本当に良い制度なのでしょうか？

大阪薬業基金はいったん解散します。

大阪薬業厚生年金基金は解散方針を決議しています。東京薬業厚生年金基金とは何が違うのでしょうか？

「代行返上(全事業所が移行)」と、一旦基金を解散したうえで、「一部希望事業所による新制度移行」とは、何が違うのでしょうか。

決定的要因は“加入事業所の意思を尊重する”ことにあります。

自社に本当に最適の選択肢は何でしょうか？

加入事業所の多くは、すでに自社の企業年金制度や退職金制度を持っています。基金制度が発足した約40年前と違って、現在は社員数名の小規模事業所でも導入できる制度が沢山あります。

厚生年金基金制度が法改正の下で廃止されることは、各企業にとって、様々な選択肢の中で自社の従業員のために最適な制度は何かということを見直す機会です。

この機会に、基金が提案する後継制度だけではなく、その他の選択肢も含めて比較検討することをお勧めします。

よくわからないままに盲目的に追従して、従来の基金と同じ轍を踏むことは避けましょう。

具体的な事例も含めて当社セミナーでご説明いたします。

セミナーのお知らせ

● 厚生年金基金対策セミナー(東薬基金編)

「代行返上」&後継制度(共通DB)の問題点と対応策

全4回開催します。ご都合のよい開催回・日時をお選びください。

2016年10月12日(木) 第1回 13:00-15:00

第2回 15:00-17:00

10月13日(金) 第3回 13:00-15:00

第4回 15:00-17:00

□各回定員20名。セミナー内容は各回とも同じです。□

場所: 新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル47F
新宿住友スカイルーム

参加費用: 1社(2人まで) 5,000円。

下の講師著書(定価1,500円)を進呈。

お申し込み方法: 裏面の参加申込書をFAXください。

※お問い合わせは、03-5333-4808(伊藤まで)

おすすめ書籍

「厚生年金基金の解散手続と退職金制度の見直し」を日本法令社から昨年8月に出版しました。基金解散が相次ぐ中で、厚生年金基金と自社の退職金制度をどう位置づけるのか、解散後の従業員福利厚生制度をどう考えるのか、等々を実務面からも分かりやすく解説します。



セミナー内容(予定)

- ✓ 代行返上(全事業所移行)と一部事業所移行方式の違い
- ✓ 移行希望しない事業所は“任意脱退”させられる？
- ✓ 後継制度(共通DB)の問題点
 - “特別掛金”はどこに消えるのか？
 - 加入員は“逆ザヤ赤字給付”になるとは？
- ✓ 総合型基金の課題; 運用リスク、受給者・加入員のバランス
- ✓ 中小企業でも導入できる様々な企業年金の選択肢

【講師略歴】 宮原英臣(みやはらひでおみ)

オーヴァル・リスクマネジメント・サービスズ 日本支社代表

1954年福岡県生まれ 1977年京都大学(経済学部)卒、三菱商事株式会社、ソニー生命保険株式会社を経て、2003年から現職。

リスクマネジメントの観点からの人事労務関連分野を主軸とする経営コンサルタント。厚生年金基金問題の第一人者として、

メディア講演・寄稿をはじめ、自民党や民主党での勉強会講師も務める。著書に「年金倒産」(プレジデント社)、「厚生年金基金解散手続&退職金制度見直し」(日本法令社)。

「年金受給資格期間を25年から10年に短縮」する年金機能強化法改正案が閣議決定された(2016/9/27)。厚生年金基金は加入1ヶ月から受給資格を得られたのに、基金解散によって受給資格期間不足となる(年金停止)ケースがあったが、この改正案で救済されることになる。基金解散後の該当者は、年金請求手続きを忘れずに。



今月のニュース

「年金受給資格期間を25年から10年に短縮」する年金機能強化法改正案が閣議決定された(2016/9/27)。厚生年金基金は加入1ヶ月から受給資格を得られたのに、基金解散によって受給資格期間不足となる(年金停止)ケースがあったが、この改正案で救済されることになる。基金解散後の該当者は、年金請求手続きを忘れずに。

セミナーお申し込みは裏面をご覧ください。

〒151-0053 渋谷区代々木4-23-5-101 Tel:03-5333-4808 Fax:03-5333-4809

○VAL セミナーご案内

オーヴァル経営ゼミナール【厚生年金基金対策】 “東京薬業基金”加入企業の最適選択肢とは ～『代行返上』&後継制度・共通DBの問題点と他の選択肢とは～

- 「代行返上」（加入全事業所が移行）は実現可能か？
- 移行を希望しない事業所は“任意脱退”させられるのか？
- 後継制度（共通DB）はお得なのか？大丈夫なのか？
- 受給者優遇、加入員（現役）は追加負担、というのは不公平？
- 総合型制度と自社独自制度では、どちらが有利？
- やめるにやめられなくなる、今の基金と同じ轍を踏むのでは？
- 他の基金はどうしているのか？（大阪薬業基金は解散、なぜ？）

全ての疑問を
クリアにします

場所 新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル47F 新宿住友スカイルーム
(大江戸線「都庁前駅」直結、JR「新宿駅西口」徒歩8分)

参加費 1社(2名まで) 5,000円(消費税込み)

参加申込書 下記にご記入の上、フリーダイヤルFAXにてお申込みください。

ご希望の参加日時に✓してください。

参加日時

- 第1回；10月12日(水) 13:00～15:00
- 第2回；10月12日(水) 15:00～17:00
- 第3回；10月13日(木) 13:00～15:00
- 第4回；10月13日(木) 15:00～17:00
- 参加できないが継続案内希望

貴社名

ご住所

〒

TEL / FAX

/

E-mail

@

参加者ご氏名1
(部署・お役職)

(

)

参加者ご氏名2
(部署・お役職)

(

)

申込書送付先FAX番号(フリーダイヤル)

0120-086-504